**大阪府医師確保計画（第８次前期　2024年度～2026年度） 概要**

**１計画のポイント（医師確保の方針）**

・府の実情をふまえた独自の調査・分析による必要医師数の算出。

・府内の地域偏在と診療科偏在に対応するための取組を推進。

・医師の働き方改革も踏まえた勤務環境改善の取組を推進。

**2医師確保の現状と課題**

・医師の偏在（地域偏在・診療科偏在）や医療需要の変化を踏まえた医師確保が課題

・大阪府全体の医師数は増加しているものの、依然として府内には、医師の地域偏在や診療科偏在があることから、医師の偏在解消に向けた取組みが必要。

・急速な高齢化が進む中、医療需要の変化への適切な対応や、新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえた医師の確保が必要。

・医師の養成段階における医師確保が課題

・初期臨床研修医や専攻医が希望する環境で研修を受けられるよう、医師の養成課程における採用数抑制等の見直しを、国や関係団体等に働きかけることが必要。

・医師の勤務環境改善が課題

・働き方改革関連の法令順守や医師確保・維持のため、医師の勤務環境改善を進めていくことが必要。

**３府独自の調査・分析による必要医師数の算出**

・国が算出した大阪府の必要医師数は、現在医師数25,267人に対し、2036年は22,944人。

一方、府が算出した必要医師数は、現在医師数25,006人に対し、2036年は27,064人。

・国算出の2036年必要医師数（22,944人）と府算出の2036年必要医師数（27,064人）は、

　大きく乖離（4,120人）しています。

・府算出では、2036年に向け2,058人の医師の確保が必要。

**４医師確保に向けた主な取組**

・医師の偏在解消に向けた取組

・医師不足対策を総合的・効果的に実施することを目的に設置した地域医療支援センターを運営

・キャリア形成プログラムに沿った地域枠医師等の派遣調整。

・若手医師のキャリア形成を図るため、留学や学会出張経費等を支給する医療機関に対する支援。

・医療機関のマッチング支援としてドクターバンク事業を実施。

・医師が不足する診療科を志望する医師の掘り起こしに向けた診療科別セミナーの実施。

・民間企業の情報サイト等を活用した効果的な広報　等。

・医師の養成段階における取組

・地域枠医師等の確保

・医師の偏在解消に向け地域枠医師等を養成・維持するため、臨時定員での地域枠設置継続について、

　国へ働きかけを実施　等。

・臨床研修制度や専門医制度に対する国への要望 等

・医師の偏在対策を重視した臨床研修制度や専門研修制度を見直すよう、国等への働きかけを実施　等。

・大学との連携による地域医療への意識のかん養（キャリア形成卒前支援プランの充実）等

・医学生（一般枠含む）にキャリア形成卒前支援プランを作成し、地域医療に対する意識のかん養を図る。

・大学等と連携し、医師の養成過程において、感染症に関する教育の充実を図る。

・医師の勤務環境改善に向けた取組

・医師の働き方改革に関する取組支援

・医療従事者の時間外・休日労働時間などの勤務実態を把握するための調査を実施し、その結果を踏まえて、必要な支援を実施。

・勤務医の負担軽減に資する勤務医を新規雇用する経費などの補助の利用促進　等。

・女性医師等の離職防止と再就業支援

・医療従事者を利用対象とする病院内保育所を運営する医療機関に対して支援を実施。

・出産･育児等により、休職･離職した女性医師等の復職支援を行う医療機関に対して支援を実施　等。